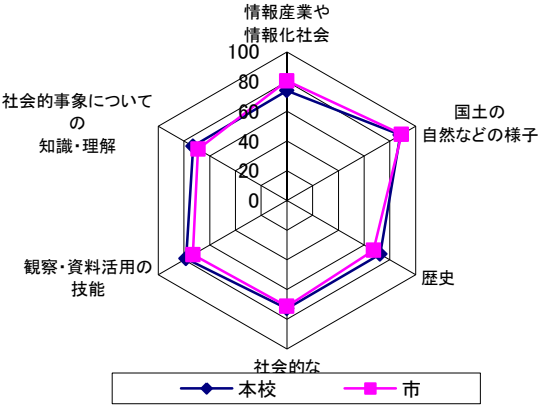


宇都宮市立上河内西小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	情報産業や情報化社会	73.9	80.5
	国土の自然などの様子	88.0	89.0
	歴史	72.4	67.2
観点別	社会的な思考・判断・表現	72.8	71.3
	観察・資料活用 の 技能	78.3	73.1
	社会的な事象についての知識・理解	73.0	69.0



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
情報産業や情報化社会	・マスメディアの特徴についての理解や、情報を利用する際の注意点について、正答率が市の平均を下回った。5学年での学習内容であり、忘れてしまっていることが考えられるが、知識として定着していないのが実態である。	・日常生活に大きくかかわってくる内容なので、再度、確認したい。情報を発信する側・受け取る側、どちらの立場に立ったときにも、情報を正しく利用できるよう指導していきたい。
国土の自然などの様子	・ほぼ全ての問題において、市の平均を上回っており、正答率がよいことから、基礎的なことに関してはよく理解されていると思う。 ・湖の汚れの移り変わりを示す複数の図から、必要な対策を考えるという活用問題については、正答率が市の平均を下回り、思考を要する問題においては、まだ十分とは言えない結果となった。	・資料を読み取る力はついているが、それらをもとに考える力が不十分であることから、授業においても、資料を読み取る際に、単にわかることだけを述べさせるのではなく、他の資料と結び付けて、その背景を考えさせたり、理由を考えさせたりする活動を意図的に取り入れていきたいと思う。
歴史	・ほぼ全ての問題において、市の平均を上回っており、正答率もよい。基礎的なことに関してはよく理解されている。 ・時代を横断した日本の外交史について問われている問題については、問題も難しく正答率が低かった。特に、複数の資料の共通項を見出し、そのテーマを類推する問題においては正答率が28.3%であり、無解答の児童も12.2%いた。	・歴史の学習は大好きで、興味をもって取り組んでいた。また、時代の流れや人物についても興味をもち、よく理解している。しかし、「外交史」等のようにテーマに絞って、時代を横断した歴史の見方については、これまで学習したことがなく、今回の正答率の低さにつながったと考えられる。今後、学習のまとめをしていく中で、そういった時代横断的な歴史の見方についても触れていきたいと思う。